

コロナに負けないぞ、絶対に！

湖陵町協会（島根県協会監事） 春日 茂

令和2年度は、何という年になるだろうか？ 新型コロナウイルス、始めは、こんなに長引く恐ろしい病気とは思わなかった。でも県内に感染が出たときは、さすがに不安の毎日、不要不急の外出をひかえ自粛生活。勿論、GGの大会・練習は中止。感染して苦しんでいる方、命がけで治療に当たる医療関係者の方、また我々の生活に必要なスーパー、宅配便、ゴミ収集等に働いて下さる方々のことを思ったら、GGが出来ないくらいは我慢をしないとと思うけど、やはり4打や5打を打ってもやりたいと思う毎日だった。

自粛が解除になって、我が協会でも練習が始まった時は嬉しかった。マスク着用はうっとうしいけれども、青空の下でボールを追いかける時はこの上のない至福の時である。

いま、病院・自宅でコロナと闘ってるGG愛好者がいるかもしれません。一日も早い回復を願いながら、こうなったらコロナに負けないぞ、絶対に！

GG仲間と共に進む

東出雲町協会（島根県協会理事） 三島 武

東出雲町には松江市の指定管理を受けたGG場があり、町内外から沢山の利用者が訪れ、楽しんでプレーされています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月10日からGG場も閉鎖となりました。私も自宅待機の日々を過ごしました。

5月20日よりGG場再開の連絡を受け、心弾む思いでGG場に向かいました。その日、NHKから取材に来ておられ、インタビューを受けることになりました。テレビを見た地元会員の方々や大社町・邑南町の県協会の仲間からも「テレビ見たよ！」と沢山の連絡をもらいました。自粛で気持ちが塞ぎ込む日もありましたが、GG仲間や旧友からも励ましをもらい、久しぶりに楽しい話題で話が弾み、とても嬉しい気持ちになりました。

GG場再開の喜びと同時に厳しい現実がありました。閉鎖での収入減、大会中止の穴埋めをどうするのか、役員会を開き対策を考える辛い日々でした。指定管理料の前倒しは認められ、何とか運営を維持できることになりました。7月から協会主催の大会も開催でき、会員の元気な姿や表情にたくさん出会え、仲間とプレーできる喜びを共感し、2ヶ月の苦しみが和らいだように思います。

今後とも、町協会役員一丸となって協会運営に努力していく決意で、大会運営、利用者の拡大に向け、前進の気合いで頑張っていきたいです。

コロナ禍で考えたこと

出雲支部協会（島根県協会事務局次長） 坂本典隆

令和2年は大変な幕開きとなりました。東京オリンピックに盛り上がるはずだった日本中が、いや世界中が「コロナ」という誰も経験したこともない厄介な世の中になりました。

楽しいGGの練習も、全員がマスクという異様な光景が、今やごく普通の姿となってしまいました。私たちは、すぐ近くまで忍び寄ってきているであろう魔物から、いろいろなことを学びました。当たり前のことが当たり前でないことを痛切に感じさせられました。

そんな中、日々の練習の場に行っている公園の桜の花は、時期が来ると、人の世などとは無縁にきれいに咲き誇り、一時の癒しを与えてくれました。とりあえず、毎日元気に仲間と顔を合わせることができると感謝です。

『私たちは、コロナなんかには負けません』。心配や不安は消え、早くいつもの安らいだ暮らしを取り戻すことが出来るのを願うばかりです。

新型コロナウイルスと協会運営について

松江市協会 深瀬征夫

今年は、東京オリンピックもあり、明るい年になると思っていた矢先、新型コロナウイルス感染症という私達が初めて経験するウイルスとの闘いになろうとは誰も予想しなかったことが起き、大会の中止・延期、それに伴う参加費の返金作業等あわただしい毎日が続きました。

先ず苦労したのが大会を開催するか否か、マスクまた手指消毒液も各方面に問い合せてもなかなか見つからず、やっと一軒だけ市内の薬局で見つけ準備。しかしながら、大会の期日が迫る中で中止の決定をしなければならなかったのが、一番辛かったように思います。市協会の事業計画も全て中止。そして政府の要請により自粛生活がはじまり、生活様式の変化により、GG 愛好者の皆様から身体を動かす機会がなくなり、ストレスがたまるとの声。私もその一人でした。

その間、各施設の閉鎖も続き、皆で集まる場所もなく、電話で連絡を取り合うだけの毎日。そしてやっと緊急事態宣言の「ステップ3」になり、人数制限が大会を開催出来る数となり、大会要項を発送できるようになりました。ただ、大会を開催するのは感染症予防対策を主催者は勿論のこと、参加者の皆様方にも守っていただき、今後何年続くか分からないコロナとの闘いに打ち勝つ努力をして、万が一にも感染者を出さないようにしなければなりません。

最後に、今後コロナが終息する見通しは甘いものではありません。その場合、協会事業等がなくなれば、会員の減少が予想され、いかに会員の増員を図って行くかが今後の課題といえます。会員の皆様のご協力を頂きながら、会員の減少を解消し、増員を図りたいものです。

新型コロナウイルスとの共存

邑南町石見協会 宮田陽温

新型コロナのニュースが出始めたころは、他人ごとのように思っていたのですが、毎日のようにニュースを見るたびに自分にふりかかってくるかと、思うようになってきました。三密を守り、手洗い、マスク着用をしていくなか、各 GG 大会中止、私たちの大会も中止せざるをえない状況となり、生活上かなり厳しい状態でした。緊急事態が発令され、もちろん、GG の練習も中止としました。

緊急事態解除後は、徐々に GG の練習参加者があり、皆さん楽しそうでした。まだ、GG 大会実施まではこぎつけていない状態です。現状では、感染者が日々に増えている状態です。これからはコロナと共存していく心構えを身に付けていくことが必要だと思います。三密を守り、手洗い、マスクの着用を実施していくことが必要だと思います。コロナに負けないように！

新型コロナウイルスに思う

津和野連盟 安見隆義

この病に罹患された方々への誹謗・中傷・差別は止めよう。このウイルスを正しく知り、正しく対応しよう。私は GG の理念であるルールとマナーを守るということを目標に自分らしく生きていきます。

新型コロナが発生し、世界中で蔓延し、あらゆることへ重大な影響が出ています。このようなウイルスで世界・日本が打撃を受けるとは思いませんでした。豊かであると言われている私達の国の一つ歯車が狂えば、奈落の底へ沈むことが明らかとなりました。この病は市中感染から始まり、色々な経過を経て家庭感染に至るまで収束しないでしょ。

GG が出来る至福に感謝し、コロナを憎しみ、人を憎まずに三密を避け、時には集い、時には家に籠もり、各自が身を守りましょう。GG 愛好者の中から感染者が出ないことを望みます。

GG というスポーツを考案された鳥取県泊村の先駆者・関係者の方々に心より敬意と感謝を申し上げ、筆トマります。

八束町協会は会員 113 名平均年齢 78 歳の団体です。新型コロナウイルスの感染拡大と競技場の使用規制により、主催者には体温測定、アルコール消毒、参加者名簿作成等を、参加者にはマスクを着用した感染防止策を行う指針が示されました。2月の大会はこの指針に従い大会を開催しました。

3月以降の町内の全大会は、3密（密閉、密集、密着）を避けてチーム5～6名の組み合わせにしました。ホールインワン時も大声を出さないようにして大会を行い、参加者は積極的に体温測定や消毒に協力して頂くことができ、検温、消毒は大会当日のイベントのようになりました。

9月以降募集する広域大会は参加人数を半減して開催し、会員が指導する八束学園 GG クラブとの交流大会は、学園と相談し、『思い出づくり』として教育委員会のコロナ感染対策指針に従い、実行することになりました。

今後、町内同好会の練習や大会も、感染防止策の3密を避けて、高齢者や持病のある方、参加者の家族から安心して頂けるような活動を目指します。

新型コロナウイルスと GG

出雲支部協会 田中康雄

突然のウイルスの感染拡大に、ただただ恐ろしい感染症とばかり思っていたのが、志村けんさんの急逝で、人ごとではないと強く感じました。

私たちは、週3回、河川敷で練習しておりましたが、4月30日に出雲市から自粛要請があり、5月10日まで使用を自粛し、待機した。その後、1週間の自粛延期があり、また待機したが、5月19日よりマスク着用等の予防をしつつ、練習会を再開した。仲間との再会を喜ぶとともに、GG がいかに体力を作り、会員同士のコミュニケーションに寄与しているか痛感させられました。

会員の平均年齢も75歳ですが、GG は簡単なルールに従ってプレーを楽しむことが出来るし、自分が審判であるとの自覚で、スコアの計算も頭脳を使い、何といっても集中力を養うスポーツである。ルールを守ってやることがお互いの協調性も養われるとの思いを強く持つことが出来る素晴らしいスポーツではないかと自分は思っております。これからは、GG の素晴らしさを伝え、会員拡大に努力したいと思えます。

コロナ仕様で開催した斐川町協会长杯大会

斐川町協会 藤江 健

日本協会・県協会からのガイドラインを頼りに、7月の斐川町協会长杯大会をやりたくてウズウズしている多数の方々と、怖くてたまらない一部の方を考慮しつつ、役員会・会長会を何度も開き、コロナ仕様で開催することを決定した。

コロナ、熱中症、梅雨の3つを考慮する多難な大会企画となった。①開会式の全員集合を止めて、役員だけの整列にし、②組み合わせを各組5名にして、前半後半と2回に分け、③朝全員、チーム毎に体温を記入、④開催日を19日から5日に変更し、開始時間を30分早め、⑤スコアカードを雨用に換えるなどの対応を取った。

当初の終了時間が遅くなるという心配は杞憂に終わり、結果オーライとなった。体温測定や手の消毒など参加の皆様がまじめに対応下さったことには感心させられた。この先まだ何が起きるか分からない。皆で知恵を絞りあって、何事にも柔軟に対応する力を日々研鑽し続けることこそが大切だと痛感させられた。



会員の加入促進を!

島根県協会の会員数は、平成25年度までは右肩上がりでしたが、同年度の4,755名をピークに少しずつ減少してきていました。それでも何とか組織力を保持する会員数を維持していましたが、2020年度は下表のとおり、9月30日現在、3,905名となり、前年度から239名の大幅な減少となりました。この要因としては、高齢化・病気等による退会者がこれまで以上に多かったこともありますが、一方で、例年400～500名あった新規入会者が、今年度は半減したことが大きいと考えられます。

島根県協会の活力ある活動を継続するため、会員の皆様には居住地区で未加入のクラブ会員やグラウンド・ゴルフ愛好者に、これまで以上に幅広く入会を働きかけ、会員の加入促進をお願いします。

島根県グラウンド・ゴルフ協会会員登録状況

ブロック	団体名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	2019年度	2020年度	増減
安来	安来GG協会	306	265	300	275	249	199	-50
	広瀬町GG協会	120	121	106	88	96	79	-17
	伯太町GG協会	74	70	72	68	64	59	-5
松江	松江市GG協会	281	263	270	336	338	336	-2
	美保関町GG協会	110	96	76	76	73	71	-2
	八束町GG協会	134	136	137	133	124	113	-11
	東出雲町GG協会	185	173	173	178	178	168	-10
	八雲町GG協会	87	100	102	108	108	110	2
	鹿島町GG協会	91	93	91	89	84	74	-10
	玉湯体協GG部	34	37	35	44	47	45	-2
	宍道町GG協会	65	61	55	61	59	53	-6
	出雲	出雲支部GG協会	414	416	411	408	380	345
	平田GG連盟	90	118	128	120	112	116	4
	斐川町GG協会	250	237	244	243	243	233	-10
	大社町GG協会	74	67	74	78	76	78	2
	湖陵町GG協会	73	73	73	78	78	72	-6
	多伎町GG協会	53	55	52	53	66	65	-1
	佐田町GG同好会	16	20	20	16	16	20	4
雲南	加茂町GG協会	156	153	148	147	154	149	-5
	木次GG協会	65	59	58	59	61	63	2
	雲南市三刀屋町GG協会	36	40	40	38	32	27	-5
	大東GG協会	112	107	105	100	115	120	5
	雲南市かけやGGC	20	17	16	16	17	15	-2
	仁多GG協会	81	85	83	80	81	99	18
	横田町GG協会	87	85	74	78	75	48	-27
	頓原GGC	13	15	17	17	16	15	-1
	赤名GG同好会	14	13	13	11	11	7	-4
大田 邑智	大田市GG協会	206	210	210	204	206	202	-4
	仁摩町GG協会	16	23	28	28	32	32	0
	邑智GG協会	26	22	21	22	19	17	-2
	大和GG同好会	19	16	13	13	14	11	-3
	邑南町石見GG協会	47	47	45	44	41	33	-8
	はずみGG連盟	40	41	39	33	23	24	1
	瑞穂GG愛好会	11	20	20	20	25	26	1
	川本町GG協会	20	20	25	29	29	28	-1
江津 田	江津市GG協会	94	97	101	101	104	103	-1
	桜江町GG協会	108	154	138	137	134	132	-2
	浜田市GG協会	73	67	68	61	58	53	-5
	旭町連合GG同好会	39	35	26	24	25	19	-6
	金城町GG協会	61	55	44	43	37	37	0
	益田	益田市GG協会	302	297	273	257	244	215
	吉賀町GG協会	35	70	73	76	63	57	-6
	津和野町GG連盟	20	21	20	19	19	20	1
隠岐	隠岐の島町GG協会	50	49	46	43	42	40	-2
	西ノ島町GG協会	37	34	35	28	33	36	3
	海士町GG協会	26	11	4	5	23	22	-1
	知夫村GG協会	22	21	20	22	20	19	-1
合計		4,293	4,285	4,222	4,207	4,144	3,905	-239

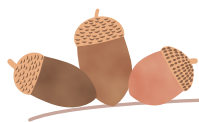
※増減は2020年度と2019年度の比較

3級普及指導員資格認定の更新手続きについて

- 日本協会の普及指導員制度の趣旨及び中国地区他県協会の状況をふまえ、本県においても、3級普及指導員の資格認定の更新にあたっては、原則、島根県2級・3級普及指導員研修交歓大会（以下、研修交歓大会）への参加を義務とする。
- 石見地区の普及指導員の便宜を図るため、石見地区でも研修交歓大会を開催する。
- 研修交歓大会の参加の有無は、3級普及指導員証のコピー（両面）で確認する。
- 研修交歓大会に諸般の事情により参加出来なかった者で、3級普及指導員の資格認定の更新を希望する場合は、「3級普及指導員資格認定更新申立書」を登録団体会長に提出する。申立書を受理した登録団体会長は、申立者の研修交歓大会不参加の理由、地域での3級普及指導員としての活動状況等を勘案し、意見を附して島根県協会会長に資格認定の更新申請を行う。
- 資格認定に係る研修交歓大会参加の原則義務化は、2020年9月の更新から実施する。

令和2年度・3年度年度島根県グラウンド・ゴルフ協会登録団体役員名簿

団体名	会長	事務局長	評議員	団体名	会長	事務局長	評議員
安来協会	金山喜次夫	宮本 薫	福島 清	横田町協会	荒井 昌洋	吉田 勉	荒井 昌洋
広瀬町協会	瀧 正夫	田中 勇嗣	松永 一則	頓原GGC	石田 和久	安部征津子	石田 和久
伯太町協会	西奥 浩子	福島 次朗	塩見 昭憲	赤名同好会	三上 和人	高橋 謙二	高橋 謙二
松江市協会	中村 幸雄	深瀬 征夫	深瀬 征夫	大田市協会	水川 篤三	小田 弘治	水川 篤三
鹿島町協会	高橋 通富	山崎 巖	宮廻 茂	仁摩町協会	藤間 元康	泉 秀彦	田中 利明
美保関町協会	梅木 啓一	森脇隆太郎	梅木 啓一	川本町協会	沖田 正人	沖田 正人	沖田 正人
八雲町協会	水野 静二	石倉 武治	石倉 武治	邑智協会	野田 寛之	門田 辰夫	原 清則
玉湯体協GG部	伊藤 薫	小室 満則	錦織 始	大和同好会	井原 希江	井原 次徳	藤原 英明
宍道町協会	八幡 登	高橋 美雄	高木 健男	瑞穂愛好会	竹辺 正人	野田 修喜	竹辺 正人
八束町協会	足立 璋光	門脇 正志	門脇 正志	はすみ連盟	戸田 淳	三好 巖	荒砂 良明
東出雲町協会	三島 武	岡 裕規	吉儀 昭広	邑南町石見協会	南原 慎人	宮田 陽温	南原 慎人
出雲支部協会	門脇 要治	三浦 美登	三浦 美登	江津市協会	城山 勝吉	西尾 義弘	北村 博昭
平田連盟	安食 俊則	山根 洋治	安食 俊則	桜江町協会	小笠原 弘	山口 忠幸	山口 忠幸
佐田町同好会	安食 勇	鎌田 弘	鎌田 弘	浜田市協会	須山 隆	大田 省三	大田 省三
多伎町協会	森本 敏雄	松村 基樹	森本 敏雄	金城町協会	藤若 早男	隅田 正三	隅田 正三
湖陵町協会	今若 祐準	山本 稔	今若 祐準	旭町連合同好会	岡村 弘幸	内藤三樹雄	岡村 弘幸
大社町協会	長廻 利行	前島 力	室田 俊孝	益田市協会	大久保五郎	澄川裕美子	大久保五郎
斐川町協会	小村 克利	藤江 健	藤江 健	吉賀町協会	白井 秀雄	村上 勝史	白井 秀雄
加茂町協会	舟木 清	中林 誠	高尾 眞平	津和野町連盟	福田 徹	藤井 康二	福田 徹
大東協会	落合 傳吉	石原 淳	坂本 大蔵	隠岐の島町協会	藤田 節雄	八幡 益行	西岡 宏康
木次協会	高橋 治男	大坂 潔	大坂 潔	海士町協会	三浦 正	瀧川千恵子	三浦 正
三刀屋町協会	布野 豊	吉田 久司	加本 勝	西ノ島町協会	中浜 堯介	道前 誠造	中浜 堯介
かけやGGC	茂富 勉	茂富 勉	茂富 勉	知夫村協会	鹿島 洋	崎 秀政	崎 秀政
仁多協会	佐藤 慎一	稲田 栄之	稲田 栄之				



ホールインワンカード達成第1号!!



2019年度から開始したホールインワンカード事業で、最初の屋外ホールインワン10個達成者でした。第1号は八雲町協会の山崎治滋さんで、令和元年9月26日の第31回島根県スポーツレクリエーション祭グラウンド・ゴルフ大会において、ホールインワン5個を記録され、見事達成されました。最初の達成者を会員の皆さんに広く周知するため、県大会で表彰することとしておりましたが、コロナ禍もあり、令和2年9月15日開催の第2回島根県知事杯交歓大会の開会式で表彰しました。



2019年度ホールインワン基金

NO.	団体名	基金額 (円)	NO.	団体名	基金額 (円)	NO.	団体名	基金額 (円)
1	島根県協会	173,551	11	出雲支部協会	155,236	21	大田市協会	32,800
2	安来協会	13,200	12	出雲支部協会 今市GGC	23,750	22	桜江町協会	7,500
3	伯太町協会	26,100	13	出雲支部協会 神西協会	13,700	23	浜田市協会	12,000
4	広瀬町協会 八幡町同好会	16,800	14	平田連盟	8,700	24	旭町連合同好会	4,300
5	松江市協会	61,000	15	斐川町協会	58,400	25	金城町協会	11,690
6	東出雲町協会	28,000	16	大社町協会	19,200	26	益田市協会	30,800
7	美保関町協会	8,200	17	出雲市協会	48,700	27	益田市協会 万葉公園	105,200
8	八雲町協会	41,000	18	木次協会	12,000	28	益田市協会 ひだまりパークみと	125,500
9	八束町協会	17,600	19	加茂町協会	17,400	29	西ノ島町協会	6,000
10	宍道町協会	20,000	20	大東協会	23,900	30	海士町協会	9,200
							合 計	1,131,427

名札を付けましょう

八雲町協会 水野静二

県大会に参加したとき、名札を付けていない会員を頻繁に目にします。会員同士の交流は、グラウンド・ゴルフの大切な目的の一つです。

あまり出会う機会がなかった人でも、名前を言いながらの会話は、親近感が倍増します。特に新入会員の方とは、よりお互いに役立ちます。また、名札の地域名を見れば話題が弾みます。名札は無言の自己紹介といえます。是非、全員が名札を付けて、さらに交流を深めましょう。



島根県大会の開催にあたっての感染防止対策を作成しました！

高齢者や基礎疾患のある人は、新型コロナウイルスに感染すると重症化する可能性が高いといわれております。島根県協会では、高齢者の多いGG愛好者の安心・安全のための「コロナと共存する新しいGG様式」を構築し、その定着に努めております。島根県大会の開催にあたっての感染防止対策を作成しましたので、大会参加者全員が感染防止対策を守り、安心してGGを楽しみましょう。

主催者としての対策

- 大会開催の可否の判断は、その時の状況を踏まえて、開催日の2週間前に行います。大会を中止する場合は、参加申込責任者にその旨を連絡し、参加料は全額返金します。なお、大会を予定どおり実施する場合は、特に連絡はしません。
- 参加者全員の検温、体調・マスク着用確認、手指消毒を行います。
- プレーヤー待機所・招集所は、広いスペースを確保します（浜山公園）。
- プレーヤー招集所は、密集・密接を避けるため、設置しません。案内放送に従って、速やかにスタートホールに集合して下さい（出雲健康公園）。
- プレーヤー待機所は、密集・密接を避けるため、一塁側スタンドを出雲ブロック参加者、三塁側スタンドをその他ブロック参加者としてします（出雲健康公園）。
- 大会本部等にアルコール消毒液を準備します。
- 大会本部には、感染防止フィルムを設置します。
- 密集・密接を避けるため、6人程度の組編成とします。
- その他、考え得る対策を可能な限り実施します。



参加者に守っていただきたいこと

- 以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる
 - 体調が良くない場合
 - 平熱を越える発熱
 - 咳（せき）、喉（のど）の痛みなど風邪の症状
 - だるさ、息苦しさ、臭覚・味覚の異常、身体を重く感じる・疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触のある場合
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 熱中症が懸念される場合を除き、マスクを着用すること
- マスクをはずした場合は、人との距離をできるだけ2m以上確保すること
- 手を拭くためのタオルを持参すること
- こまめな手洗い、アルコール手指消毒を行うこと
- 大きな声での会話、応援はしないこと
- 飲食については、周囲の人との距離を確保し、対面を避け、会話を極力控えること
- 唾（つば）や痰（たん）を吐かないこと
- タオル・飲物は共用しないこと
- 感染防止のために、主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること



編集後記

新型コロナ感染症が発生し、自粛期間は県協会のGG大会は全て中止、延期になったが、9月に入りようやく、3級普及指導員養成研修会、第2回島根県知事杯大会が開催された。参加者はマスクを着用し来場、受付で体温測定、消毒を行い、プレーもチーム7人以内の組み合わせで、休憩中はマスク着用し、3密を回避し大会が行われた。県協会の大会を参考に各地域も安心・安全な大会を開催されることを望みます。（足立璋光）